

ケアセンターけやき

症 例 概 要 利用者氏名：I・T様（70代・女性 ・要介護3）

利用期間：令和3年2月～現在

既往歴：くも膜下出血、正常圧水頭症、高血圧症

経 過：平成24年7月重症くも膜下出血発症、中等度左片麻痺残存の状態となる。その後、なるべく外出の機会を持って欲しいというご家族の意向と、ご本人も外に出て体を動かすことは大切と考え、他デイと短時間の通所リハビリをご利用されるようになった。他デイでは個浴で中等度の麻痺があるIさんは跨げないことと、高次脳機能障害があり、お湯が熱いと肌に痛みを感じてしまうためシャワー浴でしたが、お風呂に入りたいというご本人の希望があり、通所リハビリと同じ建物にある当事業所のデイを紹介され利用開始となる。

内 容

Iさんは以前に竹川病院に入院されており、竹川病院の職員に屋上に連れて行ってもらった際、けやきのデイサービスの職員や利用者さんがIさんに手を振ってくれて、Iさんも手を振り返し、その際に、リハビリをして元気になったら、向こうの建物に通えるようになると決意し、リハビリを頑張られていました。

退院後、Iさんは週2回の竹川病院通所リハビリと以前からなじみのあるご子息が勤務する他のデイサービスを利用されるようになりました。他デイサービスにおいては、ご子息もいらっしゃることから気にいられているも、中等度左片麻痺残存し、跨ぎが困難であること、高次脳機能障害から熱いお湯は痛みを感じてしまうということから、Iさんはシャワー浴でしか入浴ができなかった為、お風呂に気持ちよく入りたいという思いがずっとお持ちであった。

今回その意向を受け、風呂に入れるデイサービスを探すことになり、日頃から竹川病院通所リハビリを利用されていて職員に対して安心感をお持ち頂いているという事や、お風呂が個浴ではなく大浴場でリフトも設置されていることという理由からけやきのデイサービスを利用開始。

入浴に関しては、お風呂の温度もIさんが痛みを感じないように他利用者さんが入浴された最後にし、低温で設定、リフトも安心して入れるように訓練も実施して入浴を開始。

5年振りにお風呂に入られ、Iさんも感激し「本当に気持ちよかった。もっと早く来ればよかった」と大変に喜んでいただいた。その後、歩いて階段でお風呂に入ろうという意欲もお持ち頂き、現在は歩いてお風呂に入られています。

竹川病院退院後、以前より通われていたデイサービスへ通われるも、「もう一度お風呂につかりたい」

という気持ちから、けやきデイサービスへ利用を開始され、訓練後にリフト浴にて5年ぶりにお風呂につかる事が出来、大変喜ばれたのみならず、ご自身でお風呂にも歩いてご入浴されるまでに活動性を高めることができた事は、キラキラ介護賞に値するとし、推薦をさせていただきます。